



株式会社 エスエスワン

フォントはあるほど、 デザインの可能性が膨らんでいく。

主にビジネス系企業をターゲットとしたデザインを手がけるエスエスワンでは、最新のシステムをインストールしたマシンを用意し、常にクライアントの要望に応えるべく環境を整えている。フォントが最優先されるデザインワークの中でモリサワパスポートも重要なツールのひとつだった。

フォントはデザインにおける最優先課題

株式会社エスエスワンでは、企業のCI戦略や会社案内、名刺デザインの制作など、大手のビジネス系企業を対象としたデザイン業務を行っている。メインのクライアントがビジネス系企業ということもあり、基本デザインにゴシック系を利用することが多い。

ゴシック系にはさまざまなバリエーションが存在するが、その中でも松村有祐氏のお気に入りには、モリサワ「新ゴ」ファミリーだ。

「『新ゴ』ファミリーには、ゴシックの持つ強さの中にやさしさも存在しているところがとても気に入っています。線の細いエクストラライトからウルトラボールドまで、多様性のあるファミリーが揃っているのもいいですね。」

同社が制作したSBIホールディングスのVIマニュアルでは、「新ゴ」ファミリーを企業イメージを統一させるための日本語書体として指定しているが、やはり、フォントはデザインにおけるプライオリティがもっとも高い部分であると松村氏は語る。

また、最近ではクライアントサイドからフォントを指定されることも珍しくないそうだ。

「今のパソコンには、ある程度フォントがインストールされた状態で売られています。そのため、パソコンにどのようなフォントが存在しているかをよくご存じですね。」

デザイナーとして、どのような場合でもクライアントの要求に応じられる体制を整えておかななくてはならないことを痛感しているという。

使用頻度が低いフォントを利用するほど、 メリットが増してくる

これまででは、気に入った書体を個別に購入していた松村氏だが、知人からモリサワパスポートを紹介され、価格面で魅力を感じてすぐに購入を決めた。

モリサワパスポートをインストールしたのち、あらためてフォントリストを見てみると、その数の多さに驚いたという。

しかし、仕事からこれまでにゴシック系以外のフォントを使用する機会はあまりなかったのだそうだ。そんな松村氏がモリサワパスポートのメリットを感じたのは、レストランからメニューデザインの仕事を請け負ったときだった。

「やはりレストランのメニューには、ゴシック系ではなく、遊び心のあるフォントが欲しいところですが、そうしたフォントは、これまで使用頻度の面からなかなか購入には至りませんでした。やはり購入するフォントは使用頻度や汎用性の高いものを優先的に選んでしまっています。」

モリサワパスポートを購入することによって、デザインの幅が広がった好例と言える。

こうしたケースのように、モリサワパスポートをインストールしてからというもの使用頻度が低いフォントを使うほど、メリットを感じられるそうだ。これからもデザインの発想につながる個性豊かなフォントが追加されることを期待しているという。

モリサワパスポートが 業界標準となることに期待

エスエスワンでは、常に最新のシステムとソフトウェアを導入するよう心がけているが、他の制作会社などを通じて行う仕事では、最新のシステムを導入していることで整合性がとれずに不都合が生じるケースもあったようだ。

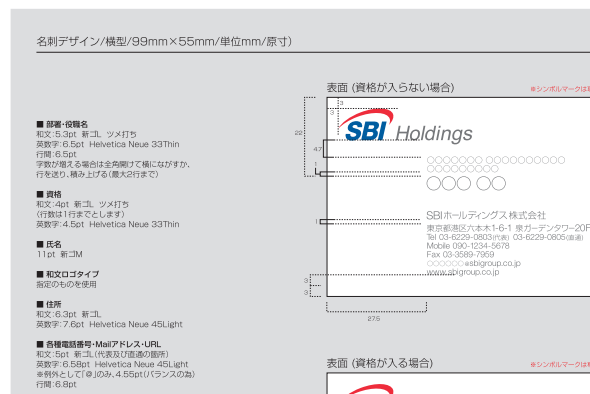
「納品先のシステム環境では、いまだOS 9の環境を利用しているところも多く、こちらが指定した

フォントが存在しないためにフォントを変更されたり、ツメが違ってしまったりなどのトラブルが生じたこともあります。」

松村氏は、モリサワパスポートがさらに普及し、業界の標準になってくれば、こちらが指定したフォントが印刷所



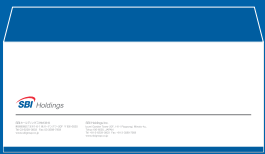
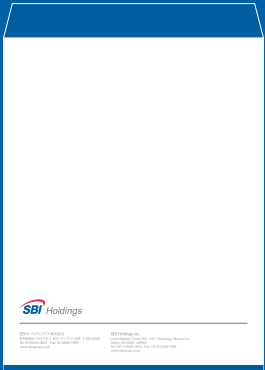
代表取締役
松村 有祐 氏



VIデザインマニュアルによって、定められた名刺のデザインルール。空きスペースや書体などの指定が詳細に行われている。マシン環境によって、字間や行間などが異なってしまったりはしない。



SBIグループシンボルデザイン

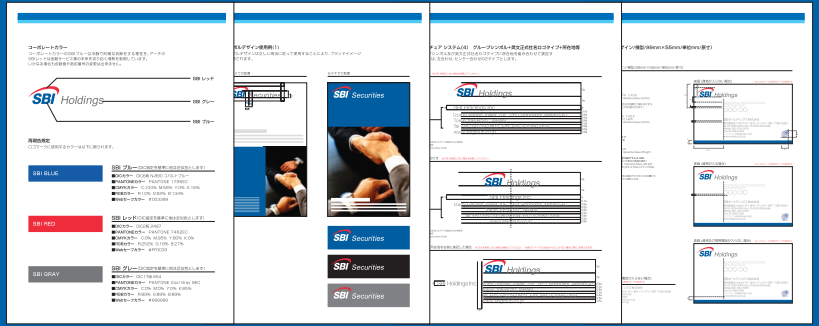


ステーションナリー

VIデザインマニュアルは、顧客に対し、イメージを固着化させるための重要な戦略のひとつだ。ここで厳密にさだめられたデザイン上のルールは広告展開だけでなく、名刺や封筒などにも影響を及ぼす。



サイン計画



VIデザインマニュアル

SBI SBI証券

や納品先でサポートされていないなどのトラブルが減るのではないかと考えている。

また、現在増えつつあるWindowsによるDTP環境との整合性を考えた場合でも、フォント環境が統一されることは望ましいということだ。実際、松村氏は出先でもWindowsのノートPCを使って、作品の仕上がりをチェックするケースもあるため、Windowsとマッキントッシュ間が同じ環境を整えることができればベストだと言う。

「もし、それぞれの環境で、同じ数だけのフォントを購入するとすると、相当な金額になってしまいます。しかも、ノート

PCでは、仕上がりの確認と簡単な修正さえできればよいわけですから、そのために高額なフォントを購入するわけにはいきません。」

すでに低価格化が押し進められている現在のDTP環境にくわえ、次世代におけるDTP環境では、整合性を備えつつも安心して利用できるフォント環境が求められている。

モリサワパスポートが普及することによって、より安定したフォント環境が得られることを多いに期待していると語ってくれた。

名称
株式会社 エスエフワン
所在地
東京都渋谷区恵比寿西1-15-9
DAIYUビル4F
設立
1998年4月17日
事業概要
・グラフィックデザイン業務全般
・デザイン企画コンサルティング業
・マルチメディア関連に関わる
デザイン・プログラミング

www.ss1.net

●使用書体：見出し・本文：新ゴ



MORISAWA PASSPORT

システム条件

- + Mac OS 9.1/9.2.2 (ATM Light 4.6.2以降が必要)
- + Mac os X v 10.2以降 (クラシック環境では ATM Light 4.6.2 以降が必要)
- + Windows 2000/XP (OpenType フォントのみ)

52,500円 (1年間・PC1台につき・各種割引制度あり) / 302,400円 (1年間・高解像度プリンタオプション)
105,000円 (1年間・低解像度プリンタオプション) ※価格は消費税込。

※プリンタフォント用MORISAWA PASSPORT はオプション契約になりますので、お申込にはPC1台以上のMORISAWA PASSPORT のご契約が必要です

お問合せ先
TEL : 0120-08-2253
URL : www.morisawa.co.jp/font/passport/



社団法人 コンピュータソフトウェア著作権協会 MORISAWA製品の不正コピーなど、違法行為にお気づきの方は(社)コンピュータソフトウェア著作権協会 (Tel.03-5976-5178) までご連絡ください。

※本仕様は改良のため、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。
※本カタログに記載されている会社名・商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。



株式会社モリサワ

- 本社 〒556-0012 大阪市浪速区敷津東2-6-25 Tel.06-6649-2151
- 東京本社 〒162-0822 東京都新宿区下宮比町2-27 Tel.03-3267-1231
- 仙台支店 〒984-0051 仙台市若林区新寺1-3-8 Tel.022-296-0421
- 名古屋支店 〒460-0002 名古屋市中区丸の内1-5-10 Tel.052-201-2341
- 札幌営業所 〒001-0010 札幌市北区北十条西2-6 サウスシティ2F Tel.011-700-0112
- 広島営業所 〒730-0805 広島市中区十日市町1-6-27 広島印刷会館1F Tel.082-296-1114
- 福岡営業所 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1-3-25 Tel.092-411-5875
- 鹿児島営業所 〒890-0045 鹿児島市武1-11-7 秋丸ビル Tel.099-252-2255
- 岡山出張所 〒701-1214 岡山市平川市場386 Tel.086-284-9766